

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	情報リテラシー演習		
英文授業科目名	Exercises for Information Literacy		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	山本 渉		
居室	西5 - 601		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>情報リテラシーと同様、システム工学の基礎スキルとしてのコンピュータの利用方法を主題とします。コンピュータを用いて数値計算等で解決しなければ問題に行き当たったときに、自力で解決できるようになるための自己鍛錬の科目と位置付けています。</p> <p>本演習では、コンピュータの計算ツールとしての利用に必要なプログラミングスキルを、MapleやRといった高級言語を対象に学生自身が養っていくことを目標としています。そのために、アルゴリズムのプログラミングやシミュレーションに関する課題を課します。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
基礎プログラミング。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
システム工学科の一年次の専門基礎科目。

【教科書等】
毎回、資料を配付します。

【授業内容とその進め方】
プログラミング課題は、前半は基本的なプログラミング技法に終始し、後半の課題はシステム工学科に関連する話題から選択します。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

本科目は演習科目のため、出席とレポートに基づいて、評価します。

- ・原則として、課した課題すべてにつきレポートの提出をお願いしています。
- ・出席した回のレポートのみを評価します。
- ・期限を守らなかったレポートは、評価を50%引き下げることがあります。
- ・出席回数が2/3に満たないもの、及びレポートの提出本数が2/3に満たないものには、単位を与えません。
- ・成績は各回の演習を終えて提出したレポートの点数の総和で評価します。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。必要であれば、講義の前後に担当教員と相談の上、アポイントメントを取るか、その場で尋ねてください。

【学生へのメッセージ】

それなりの本数のレポートを提出する負担の多い科目なので、一回目の履修で単位を取得していただくようお願いします。

【その他】